



むらさん

第1号

発行者
山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷
中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



未来へ向かって
山形県立村山産業高校スタート!

村山産業高校

元気で明るいPTA活動

PTA会長 青柳 篤

村山産業高校も開校してあつと言う間に四カ月が過ぎようとしています。はじめは、生徒・先生・保護者の皆さんも、どんな学校になるんだろうと、期待と不安の中でのスタートでした。でも、生徒の皆さんの日頃の学業、部活動の頑張りで、学校にも勢いが出て来て、高校総体では、男子ハンドボール部、山岳部が全国大会出場。又新連部も全国高総文祭出場と、すばらしい成績で今後も上位入賞を目指してほしいと思います。

本校では、農業科、工業科、商業科を併設しそれぞれの学科の専門性を活かした人間育成と、各学科の連携による第六次産業化を目指しています。北村山地区唯一の産業高校として、地域の大きな期待を集めながら、産業高校が現在あるのだと思います。

そして、PTA活動においてもPTA評議員による学年PTA事業活動やPT

A各専門委員会活動(生活委員会、研修委員会、広報委員会)とさまざまな活動を行う事で、PTAの活動をアピール出来ると思います。又、地区PTA活動においても、昨年まで東工、村農で実践してきた活動については、今後、出来るものは継続していただきたいものです。地域、学校、保護者の連携を図り地域の活動(奉仕活動など)や行事などにも積極的な参加をすることで、生徒達も元気で明るい学校生活を送ってくれる事を願っております。

最後に、ぜひ地域の皆様には、産業高校に足を運んでいただき、東北一の設備を見ていただきたいと思います。すばらしい環境に恵まれた校舎は一番の自慢です。



誇らしい校風と

伝統創りを

校長 竹 田 耕 平

時下、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。日ごろ、本校教育には特段のご理解とご協力をいただき、心から感謝いたします。

さて、本校開校から四カ月。この間、生徒や保護者の皆様には、戸惑いや不安も多かったのではないかと思います。

しかし一学期を終えた今は、

両校風の「混じり合い」から新しい校風（新化合物）創造への「科学反応の最中」にあるように思います。夏休み直前のクラスマッチは、クラスはもちろん、学校全体から力強く整然とした一体感を感じました。この一体感は、生徒会執行部への求心力であるとともに、「同じ目標に向かう同士の意思」によって醸し出される独特の情景のように見えました。

「地域の未来を担う生徒たちに、地域を興す喜びと、実現できる力を身に付けさせたい」とは、本校教育の使命です。少子化に伴う人口減少の中で、本校の卒業生は、毎年二百名近くが地域に職を求め、

やがて家庭を持って生きていきます。換言すれば、本校の生徒たちはまさに「地域の未来そのもの」なのです。だからこそ、「東北」「山形」「世界基準」の施設設備（教育環境・舞台装置）の導入でありますし、同時に県民皆様の期待の大きさを表れでもあります。

私たち教職員は、生徒に『高い志と挑戦する心』を育てる者として、心を一つにして使命に果敢に挑戦していかなければなりません。

保護者の皆様には、百年は続くであろう新しい学校に、誇らしい校風と伝統を逞しく築くために、生徒たちがクラスマッチで見せた「同じ目標に向かう同士の意思」で、大きなご支援をお願いいたします。



各専門委員長あいさつ

新生!!村山産業高等学校

広報委員長 高橋 英明

村山産業高校、開校おめでとうございます。東根工業高校と村山農業高校が統合し村山産業高校としての、第一歩を踏み出して、これからの新しい伝統と歴史を築いてくれる事を心から願っています。

村山産業高校としての第一号のPTA会報発刊に携わる事が出来、嬉しく思っています。

広報委員長として、生徒の皆さんへお願いです。広報委員が編集時に悩む程の活躍をして下さい。その皆さんの活躍を、PTAの方々に「むらさん」を通してお知らせ出来ればと思います。



編集会議風景

研修委員活動へのご協力を

研修委員長 須藤 寛

PTA執行機関で専門委員会の一つとして研修委員会があります。活動内容としては各種研修会への参加、校内研修会の企画・立案・実施等です。各種研修会とは、地区・県・東北・全国の各PTA連合会が主催する研修会のことです。各高等学校PTAとの連携を深め、PTA活動の充実と高校教育の振興を図ることを目的としています。校内研修会は、PTA総会時に行なわれ保護者が一同に会する機会です。ぜひ参加していただき、保護者同志が顔見知りになり横のつながりを持って、これからのPTA活動が楽しく有意義なものとなるよう願っております。



東北地区高P連秋田大会

「新星」村山産業高等学校

生活委員長 安達 啓

今年四月より村山産業高校という輝かしい創立の年に役員としてPTA活動に参加し、真っ白いページに最初に時を刻むことができ大変嬉しく思っております。

春に新校舎を見学させて頂く機会がありました。専門教科ごとの充実した設備で勉強できる子ども達にすばらしい未来が待っている夢のような校舎に感動いたしました。

生活委員としては今、通学道路が悪化し、歩道を歩く人、自転車で通学する人等で混雑しているという問題をふまえて、これから行われる登校時の立哨活動で現状を把握し、駅から高校までの道路の整備を訴え続けたいと思います。



自転車安全教室

生徒会長あいさつ

これからの村山産業高校

三年二組 須藤 遼史



村山産業高校は村山農業高校と東根工業高校が合併して、今年度から新たな歴史を刻んでいます。

村山産業高校には農業科、工業科、商業科の三つの学科があります。これは山形県内では唯一、初の複数学科連携した学校です。

村山産業高校では農業、工業の二つの分野で再生可能エネルギーを積極的に取り入れています。それは、ペレットボイラー、雪むろ、太陽光発電です。ペレットボイラーは間伐材を利用した木質ペレットを燃料とし、冬期間の暖房として利用します。雪むろは食品加工室の冷房に利用されます。太陽光発電は発電された電気を本校で使用しています。この他にも農業科では森林拡大の活動も行っており、エコに対する意識が高い学校です。

生徒会活動では、村山農業高校と東根工業高校の仲間た

ちと親睦を深め、学校を一つにまとめるために様々なイベントや行事を計画しています。まずは自分たち生徒会役員が村農、東工関係なく力を合わせてイベント、行事を運営していきたいと思っています。力を合わせて運営する私たちの姿を見て、生徒一人一人が学校を一つにしていこうという意識を持ってくれることを目標にしていきたいと思っています。また、新高校一年目ということで色々困難な事があるかと思いますが、生徒会役員でお互いをフォローし合い、みんなで力を合わせて学校を引っ張っていききたいと思います。



学科紹介



農業経営科

一年二組 渡辺 夏帆

私のクラス「農業経営科」は、今年新しく出来た学科です。二年生時のコース選択では、「生産技術コース」と「加工流通コース」にわけられます。「生産技術コース」では主に畜産や果樹を勉強することになります。「加工流通コース」では、食品の製造・加工を中心に勉強します。一学年時は、農業の基本的なことやコース選択の授業に必要な基礎的な学習を行っています。今は、トウモロコシ・稲・さといもの栽培を行っています。果樹では、ブドウの栽培を行っています。外での活動が多いので大変ですが、一時間一時間大切な授業なのでみんな頑張っています。植物バイオテクノロジーでは、植物を育てる培地をつくったり、実験器具の使用方法を勉強しています。他にも、農業鑑定競技会の



農業環境科

一年二組 瀬野 まみ

樋口 優夢

ために勉強をしています。立派な農業の担い手となるよう頑張ります。

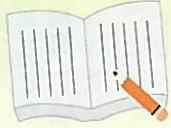
私達のクラスの紹介をします。私達のクラスでは、専門科目としてバイオテクノロジーや森林科学と農業と環境といった科目を学習しています。森林科学では、森林の多面的機能や下刈りなどの学習をしてきました。農業と環境では、トウモロコシとトマトの栽培を学習しています。暑期中での作業が多いですが、班ごとに協力して栽培管理を行っています。二学期や三学期も積極的に取り組んでいきたいです。次に、クラス紹介をします。一年二組は、授業に積極的に取り組んでおり、他にも、部活動に全員加入し、日々練習に励んでいます。また、クラスメイトは仲が良く、困ったことがあれば助け合えるクラスです。三年間、お互いに協力し合い、どんなことにも全力で取り組めるクラスにしたいと思うし、これから継続してがんばって生活をしてよいクラス作りを続けたいと思います。

機械科

一年三組 青木 利来

機械科とは、機械の設計・施行などの基本的な知識と技術を修得するところです。ここ村山産業高等学校になってから最新の旋盤や3Dプリンターなどが導入されました。自分は今もう旋盤の実習を行いました。初めて機械を使っただけ付き丸棒という作品を作りました。一番難しかった行程はゼロ点調整することです。それをするによって作業を効率よくでき、行程通りに切削することが出来ます。自分はそのをだいたいやって寸法よりも小さくなってしまったので、何事もあせらずに丁寧にやるのが大事だと思いました。ほかにも機械工作という座学や鑄造などを行います。

ここ一年三組は、学年でも一番優秀なクラスです。それを維持するためにクラスでは、教え合いをしていてとてもいい雰囲気です。最後にクラス目標の「全員進級」目指して頑張っています。



1-4 対面式にて



1-3 フライヌ盤実習風景

電子情報科

一年四組 寺崎 翔

今年村山に県立村山産業高校が開校しました。僕は、工業の電子情報科に入りました。

電子情報科では、基盤に細かな電子部品のはんだ付けをしたり、アルミのアンクルに穴をあける加工をしたりする実習があります。

また、トランジスタやICなど、様々な電子部品の特性や必要性を学んだり、オームの法則など電気の特性に関する勉強をしたりします。

新築された実習棟には、大型の3Dプリンタやレーザー加工機、太陽光発電や風力発電に関する実習装置、電動自転車やセグウェイなど電子制御に関する実習装置など最新の装置がたくさんありとても良い環境です。

ここで学ぶことに興味を持って入った仲間と一緒に、クラスの目標である「夢・実現」を成し遂げることが出来るよう日々学習に力を入れ将来に役立てていこうと思っています。



1-5 総合実践室での授業



1-5 情報処理授業

流通ビジネス科

一年五組 橋本創一朗

私達の「流通ビジネス科」は、本年度に新しく設置された学科です。主として、将来商業関連企業や学校に就職又は進学するために、商業の基礎である簿記や情報処理を勉強しています。

簿記とは、商業で最も重要な仕事である資本や負債、売り上げや仕入れなどを計算して記録する授業が最も多いです。間違いをすると全てがズレるので、実習をして覚えることが第一です。

情報処理は、現代のビジネスをやっていく上で、重要なパソコンの使い方やビジネスに関連する様々なソフトを使いこなすよう学習する科目です。パソコンを使いこなせるかどうかで将来のビジネスは変わるので、非常に重要です。これらの授業を通して、私は良い職場や学校に行けるよう、資格修得を目指して学習しています。

「村産流通ビジネス科第一期生」として、活躍できるよう頑張ります。



農産システム科

三年一組 柿崎 梓

我ら農産システム科は、牛や鶏の世話や、野菜を一から育て地域の方々に販売したりします。毎回毎回村山の地域の方々の温かさに触れ、寒い冬も頑張れます。食品製造では、村山産業高校で育てたり、ジュースや、カルピスに味が似たニュートリーを販売します。村山産業高校の農産システム科で作る果物や野菜や加工品は、いつも人気です。新高校になったら、人数が増えた分、雰囲気も明るくなりました。しかしまだあいさつが少なく、さわがしいところもあるので、様々な委員会の活動を通してあいさつを徹底し、明るく元気な学校を、我々三年一組から作り上げていきたいと思います!!そして全員進路達成に向けて、協力し合っていきま

す!!



果樹実習

1



環境クリエイト科

三年二組 今野 諒

私たち環境クリエイティブ科は、三つのコースに分かれております。環境技術コース、環境デザインコース、進学コースがあります。環境技術コースは主に林産物の加工やキノコの栽培などを行っています。環境デザインコースでは、造園技術、草花の実習があります。進学コースは、数学Ⅱ、国語表現、リーディングを学習します。

私たち三年生は、農業クラブの大会や部活動が終わったので、就職や進学をするために頑張っています。就職希望者は企業見学や先生方の面接指導を受けています。進学希望者はオープンキャンパスに行ったり小論文の練習などを行っています。私たちは、就



機械システム科

三年三組 吉田 宗平

私たちの身のまわりにある物のほとんどが、機械で作られています。機械システム科ではそれらの物を作る為の機械の操作の仕方や、構造などを理解し、次の世代を担う技術者になれるよう、技能士などの検定に挑戦しています。クラスの中でも、たくさんの方々が出ています。

卒業後の進路としては、大半の生徒は、三年間で学んだ知識や技術を生かせるような職場に就職します。特に東根工業団地に就職する人が多いと思われます。また、中には自衛隊や警察などの公務員になる人、大学に進学する人も少ないですがいます。それぞれの進路目標達成のため頑張っています。



電子システム科

三年四組
沼澤
龍哉

私のいる電子システム科は、基本的な電子回路の計算や、電子機器組立て、太陽電池パネルの実習などの授業を行っています。三年になると、課題研究というそれぞれが選んだ課題に取り組む授業があります。他にも技能検定や電気工事などの国家資格を取得することができたり、サステナタウンプロジェクトで海外に行き、現地の人に技術を教える活動もしています。

この学科を卒業してからは製造関係の仕事につきたいと考えています。製造関係の仕事では、この学科で学び身につけた、電子機器の組み立ての技術や作り手としての心構えなどがとても役に立つと思います。



プロダクトデザイン科

三年五組 岩松 成治

プロダクトデザイン科は他校にない珍しい学科だと思えます。プロダクトデザインとは、工業デザインのことをさします。授業では、新しい物を生み出すデザインはもちろんですが、文字のレタリング製品の寸法から設計、製品化までと、さまざまな分野を幅広く学んでいます。

私たちは、自分の進路実現に向けて、授業での先生の話聞くことはもちろん、期限を守った課題の提出など社会人として必要な力を身につけるようとくにがんばってきました。めずらしい学科ということもあり、この学科に合った求人が少ない状況ではありますが、自分の進路実現に向けて頑張りたいです。



前期部活動結果報告

地区総体

●硬式テニス 優勝

●卓球男子 優勝

●県大会

●男子ハンドボール 優勝(インターハイ出場)

●女子ハンドボール 第3位

●自転車競技

ロード競技

女子5kmタイムトライアル(34.2km) 第1位

男子4kmチームパーシユート 第2位

トラック競技

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位

男子4kmチームパーシユート 第2位



村山産業高校イメージキャラクター誕生 みうらじゅん公認「ま・ろ〜ずちゃん」!!



生徒総会でイメージキャラクターとして承認をしていただき、名前を公募しました。175件の公募の中からキラリとひかる「ま・ろ〜ず」という響きに生徒会メンバーがトキメキ、決定しました。意味は2つの学校がまるやかに1つにまとまって行こうというメッセージとキャラクターの眉毛が「麻呂」のようだという、村山の特産である薔薇を英語で「ローズ」という語呂合わせも含んでいます。これから商業登録をおこない、さまざまな展開を予定しています。皆さん「ま・ろ〜ずちゃん」を宜しくお願い致します。

村産ギャラリー



産振棟県産木材活用(図書館前)



2年電子計測実習



2年果樹剪定講習



3年進路講座



ソーラーパネルのついた産振棟(左側)

PTA広報委員前期 第一号のメンバー

広報委員長 高橋 英明

副委員長 多田 義彦

笹原 正義 土田 貴

佐藤 清次 村岡 淳一

奥山 和彦 柿崎 信也

名垣 英利 斎藤 聡之

表題字 本校教諭 荒井 智子

あとがき

村山産業高校の「むらさん」第一号をお届けします。創刊号の内容は、いかがでしたか?生徒達の校内での様子をお伝えしたいと思い写真を多めにしてみました。次号からも、生徒達の活躍やPTA活動を「むらさん」を通して、お伝え出来ればと思っています。